

11/24

12/5

## 町の未来を担う不破中、北中3年生のみなさんに、住みたいまちや理想とするまちに関するアンケートを実施しました

第6次総合計画の最終年となる平成39年度は、現在の中学3年生が25～26歳になっており、仕事や、学校、結婚、子育てなど、それぞれの人生を歩んでいる中で、日本は少子高齢社会が進展し、人口が減少するなど、過去に経験したことのない時代になっています。

そのような中、自分の将来はどうなっているのか。アンケートに取り組む前に、各中学校へ町職員が訪問し、10年後の町の将来像に自分の将来を重ねて考えていただけるよう授業を行いました。



不破中学校



北中学校

併せて、中学生の保護者のみなさんにも子育て支援の環境や、子どもの進路や将来に対する考え方についてアンケートにご協力いただきました。

12/6

## 不破高等学校でワークショップを開催しました

住みたいまちの理想像や、今の町に足りないものについて意見交換していただくため、1～2年生13名に参加していただき、ワークショップを開催しました。

2つのグループに分かれ「住みたいまち」、「今の垂井に足りないこと」、「こんなことをすれば良くなる」、「自分たちができること」の順に議論を進め、最後に、出された意見を発表しました。

このほか、3年生には、中学生と同じく住みたいまちや理想とするまちに関するアンケートにご協力いただきました。



ワークショップの様子

**これらの結果は、第6次総合計画に反映させていただきます。**

問合せ／企画調整課 企画係(内線289)

# シリーズ 新しい総合計画

「まちづくりを住民のみなさんと」